

平成29年3月10日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 ^{まぶち} 馬淵 ^{あきこ} 明子）は、平成29年3月10日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに226件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、11,263件となる予定です。

1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	226件 27都道府県61市町村(区)	11,263件 47都道府県891市町村(区)

○時 代 別

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	40	62	44	80	226
累 計	1,951	3,625	2,343	3,344	11,263

○種 別

	産 業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	41	13	6	3	19	1	3	114	23	3	0	226
累計	117	1,146	1,448	472	209	347	327	321	5,090	1,510	197	79	11,263

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	167	6	53	226
累 計	8,853	609	1,801	11,263

2. 主な事例

① 国内最大の塔高を誇る明治9年の煉瓦造灯台 尻屋崎灯台 青森県下北郡東通村

本州最北端の下北半島北東の尻屋崎に建つ、イギリス人技師ブラントンの設計による円形灯台。灯塔は、底部外径7.2メートル、高さ33メートルで、イギリス積煉瓦造。外壁部と内壁部の間に空洞を持つ二重円筒構造が特徴で、基部に半円形の付属舎が付く。国内最大の塔高を誇る煉瓦造灯台。



② 清流を守る長大な砂防堰堤 瀬場砂防堰堤 山形県東田川郡庄内町

最上川水系の立谷沢川に築かれた砂防堰堤。本堰堤は堤長193メートル、高さ6メートルの粗石コンクリート造で、副堰堤と水叩き二段を備えるため、四段の滝のような雄大な景観を創る。本堰堤中央に流水を導くため堤体を微妙に湾曲させるなど、技術的な工夫もみられる。



提供：国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所

③ 装飾豊かな農林学校講堂 宇都宮大学峰ヶ丘講堂（旧宇都宮高等農林学校講堂）

栃木県宇都宮市

峰キャンパス構内に建つ講堂。垂直性を強調した外壁と、大小の三角屋根が織りなすリズムで印象的な姿を見せる。外部の平坦な中にも柱形を付けて直線を強調した壁面や、柱頭飾、内部天井の緩やかな円弧状アーチ飾りなど、セセッション的意匠で全体をまとめている。



④ 数奇屋風意匠でまとめる大規模近代和風住宅

三養荘（旧岩崎久彌別邸）本館中央棟ほか

静岡県伊豆の国市

岩崎久彌の別邸として建築され、昭和 22 年から旅館として使われているもの。京都別邸のための部材を用いて建築されたと伝え、京間と関東間の二種類の寸法体系が混在する。建物は緩やかな斜面に建ち、複雑な立面を見せ、内部は優雅な座敷飾りを備える。



⑤ 近世から近代にかけての金剛寺の歴史を物語る建物群

金剛寺本坊客殿ほか 大阪府河内長野市

江戸期から伝わる金剛寺旧子院の建物・門・塀、明治期に建てられた大玄関など、また昭和に建てられた講堂や屋根付橋などが天野川兩岸に建ち並ぶ。写真の客殿は江戸中期の建物で、庭園と一体になって優美な景観を形成する。



提供：河内長野市教育委員会

⑥ ^{おおくま}大隈重信のからだをイメージした記念碑的建築

大隈重信記念館 佐賀県佐賀市

佐賀市内の旧武家地にある大隈重信旧宅の東隣りに建つ。大隈重信生誕 125 周年を記念し、地元の早稲田大学出身者らによって資金が集められ、同大学の今井兼次が設計した。鉄筋コンクリート造で、県木の楠と大隈のからだを曲面を多用して表現しており、室内はステンドグラスにより彩る。優れた施工技術に支えられた記念碑的建築。



<担当> 文化庁文化財部参事官（建造物担当）付
参事官 熊本達哉 （内線 2790）
登録部門 西和彦，小沼景子，藤井一（内線 2797）
登録係 貴志徹 （内線 3160）
電話：03-5253-4111（代表） 03-6734-2792（夜間直通）

名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基 準
宮本商産旧本社ビル	北海道帯広市	T8	煉瓦（れんが）タイルに花崗（かこう）岩を対比させ、細部に重厚な趣を見せる良質な事務所建築。	建築物 産業3次	1
旧国鉄土幌線糠平川橋梁	北海道河東郡土士	S30	昭和30年の旧国鉄土幌（しほろ）線付替に伴い架設された糠平（ぬかびら）川橋梁（きょうりょ）は四連アーチ橋、三の沢橋梁は三連アーチ橋で、湖畔の自然景観と調和しており、北海道自然歩道として活用される。幌加（ほろか）駅プラットホームも往時のぎわいを伝える。	土木 交通	1
旧国鉄土幌線三の沢橋梁	幌町	S30		土木 交通	1
旧国鉄土幌線幌加駅プラットホーム		S14		工作物 交通	1
尻屋埼灯台	青森県下北郡東通村	M9/H12改修	本州最北端の下北半島北東の尻屋崎に建つプラントン設計の円形灯台。外壁部と内壁部の間に空洞を持つ二重円筒構造が特徴で、基部に半円形の付属舎が付く。国内最大の塔高を誇る煉瓦造灯台。	工作物 交通	3
法光寺承陽塔	青森県三戸郡南部町	S24	承陽大師（道元）の遺骨を安置するための三重塔。総高33メートルで、戦後に建てられた木造三重塔の中でも最大級の規模を有する。	建築物 宗教	2
金華山灯台	宮城県石巻市	M9	牡鹿（おしか）半島沖の金華山に建つプラントン設計の円形灯台。東北地方で最古の石造灯台。	工作物 交通	3
佐藤家住宅主屋	宮城県柴田郡大河原町	S14頃	旧奥州街道に面して敷地を構える。佐藤家は呉服商や醤油（しょうゆ）醸造業を営み、明治以降は町議員や郵便局長を歴任するなど、地域振興に貢献した。主屋は中庭を囲い、30を超える部屋を機能的に配し、和室を中心としながら洋風意匠を巧みに取り込んだ大規模な近代和風建築。新座敷は小屋組をキングポストトラスとし、床から矩（かな）折れに床脇を設ける特徴的な床構えを見せる。店蔵は漆喰（しっくい）塗と海鼠（なまこ）壁を塗り分け、軒も海鼠仕上げをめぐらし、街道沿いの景観を形作る。延命蔵は大規模な二階建土蔵で、階段は踊り場を持つT字型で、特徴ある内部空間とする。敷地西面には表門及び外塀を構え、敷地内を画す内塀や井戸屋も意匠を凝らす。敷地東端には、五行稻荷社や神宮小祠（しょうじ）（旧奉安殿）を配し鳥居で区域を画す。	建築物 住宅	2
佐藤家住宅新座敷		M34頃/S11頃移築		建築物 住宅	2
佐藤家住宅店蔵		M19/H23改修		建築物 住宅	1
佐藤家住宅延命蔵		S14頃/H23改修		建築物 住宅	2
佐藤家住宅表門及び外塀		S14頃		建築物 住宅	1
佐藤家住宅内塀		S14頃		工作物 住宅	1
佐藤家住宅井戸屋		S14頃		工作物 住宅	1
佐藤家住宅五行稻荷社		M32		建築物 住宅	1
佐藤家住宅神宮小祠（旧奉安殿）		S前期/S20年代移築		建築物 住宅	2
佐藤家住宅鳥居		S前期		工作物 住宅	1
瀬場砂防堰堤	山形県東田川郡庄内町	S28	昭和12年より開始された山形県内初の国直轄砂防事業の一つとして最上川水系の立谷沢川に築かれた砂防堰堤（えんてい）。本堰堤は堤長193メートルで、副堰堤と水叩（たた）き二段を備え雄大な景観を創る。	土木 治山治水	2
六淵砂防堰堤	山形県東田川郡庄内町	S27	立谷沢川本流にて最大の貯砂量をもつ堰堤で、堰堤前面に玉石を張り、上部に割石を亀甲積した帯を表し、見応えのある意匠とする。	土木 治山治水	2
源泉亭湯口屋旅館本館	福島県岩瀬郡天栄村	M4頃	山間の温泉地に建つ旅館。大規模な茅葺（かやぶき）建物で、湯治場として知られる岩瀬湯本温泉の景観の核となっている。	建築物 産業3次	1
宇都宮大学峰ヶ丘講堂（旧宇都宮高等農林学校講堂）	栃木県宇都宮市	T13/H21改修	大学構内の北西に北面して建つ講堂。直線を強調した平坦（へいたん）な壁面や柱頭飾、内部天井の緩やかな円弧状アーチ飾りなど、セセッション的意匠で全体をまとめた優作。	建築物 学校	2
群馬県立沼田高等学校管理教室棟（旧沼田中学校校舎）	群馬県沼田市	S3/H24改修	旧沼田中学校の校舎と講堂として建てられた。管理教室棟は、外観は装飾を排した簡素で平坦な仕上げとするが、玄関まわりや玄関ホールなどにアールデコ風の装飾が見られる。県内最初の鉄筋コンクリート造学校建築として貴重。屋内運動場は鉄骨鉄筋コンクリート造で、小屋組はアーチ状の鉄骨トラスを現し内部空間を特徴付ける。	建築物 学校	1
群馬県立沼田高等学校屋内運動場（旧沼田中学校講堂）		S3/H27改修		建築物 学校	1
滑川家住宅主屋	千葉県銚子市	M6頃	利根川下流域に建つ河岸間屋の住宅。主屋は葡萄（ぶどう）と栗鼠（りす）、仙人、梅が描かれた杉戸絵や襖（ふすま）絵を建込み格調高い造り。長屋門も重厚な表構えで街景観に寄与する。	建築物 住宅	1
滑川家住宅長屋門		E末期/S15頃改修		建築物 住宅	1

名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基準
後藤家住宅主屋	千葉県市川市	T15/H24改修	主屋は洋風の応接室や本格的な座敷飾を持ち、中廊下やガラス戸などで機能性を備えた良質な近代和風住宅。稲荷社は千葉街道から主屋への路地沿いに建ち、地域の景観を今に伝える。	建築物 住宅	1
後藤家住宅稲荷社		S前期		建築物 住宅	1
小原家住宅主屋	千葉県館山市	安政6 (1859) 頃/ M29改修, S前期増	館山市中心部東の丘陵地に建つ。主屋は寄棟造の主体部に台所部や土間部が接続するもので、近世から近代への増改築の変遷をよく留める。主屋の南東に建つ離れは床脇に独自の意匠が見られる良質な建築。主屋の西に米蔵や文庫蔵、敷地南には旧長屋門が建つ。表門は量感のある造りで家紋入の屋根瓦を用い、表構えに風格を添えている。	建築物 住宅	1
小原家住宅離れ		S4頃		建築物 住宅	1
小原家住宅米蔵		弘化2 (1845) 頃/ H4頃増築		建築物 住宅	1
小原家住宅文庫蔵		S前期		建築物 住宅	1
小原家住宅旧長屋門		E後期/M中期改修		建築物 住宅	1
小原家住宅表門		M中期		工作物 住宅	1
旧齋藤家住宅主屋		千葉県松戸市		M34	土間に直材の梁(はり)を井桁に組み天井を張るなど、近代的要素を持つ茅葺の住宅建築。
松ヶ丘一号型街路灯	千葉県流山市	S32頃/H25移設	フルーティングを設け様式建築の柱を模し、頂部に円形電灯を置く特徴ある街路灯。	工作物 生活関連	2
高原家住宅店蔵	千葉県長生郡一宮町	M後期/H26改修	玉前神社参道沿いに建つ土蔵造の店蔵。二階の三連窓や重厚な持送りなどで正面を飾り、門前の景観に寄与している。	建築物 産業3次	1
旧秋場家住宅主屋	千葉県長生郡一宮町	M33/H25改修	秋場家はかつて網元を務めた家で、江戸末期より酒造業を営んでいた。主屋は座敷に龍(りゅう)、松と鷹(たか)を彫刻した欄間を備え豪壮な細部意匠を見せる。土蔵は丁寧な造りで、長屋門は隅木や梁に大きく湾曲したチョウナ梁を用い、端部は持送りにし出桁を受ける構造が特徴で屋敷構えに格式を添える。	建築物 住宅	1
旧秋場家住宅土蔵		天保13 (1842) / H25改修		建築物 住宅	2
旧秋場家住宅長屋門		M前期/H25改修		建築物 住宅	1
旧齋藤家住宅主屋	千葉県長生郡一宮町	M30頃/S前期改修	主屋は内縁(うちえん)を介して茶の間、中の間、奥の間を並べ、庭園に向けて開放的外観を見せる近代和風住宅の好例。店蔵は重厚な外観で二階には座敷を備える。敷地北東角には土蔵も残る。稲荷社は地元職人による精緻な彫刻を随所に飾る。	建築物 住宅	1
旧齋藤家住宅店蔵		M中期/H26改修		建築物 住宅	1
旧齋藤家住宅土蔵		M中期		建築物 住宅	2
旧齋藤家住宅稲荷社		M中期		建築物 住宅	1
山崎家住宅主屋	東京都文京区	T6/S35・同38・同61・H18改修	二階建の洋館に平屋建の和館がL字型に接続する。玄関や階段踊場に意匠性の高いスタンドグラスを取り入れ、喫煙室はイスラム風のデザインでまとめる。	建築物 住宅	2
旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室	東京都日野市	S7	一階は鉄筋コンクリート造、二階は木造とする蚕糸試験場の中でも珍しい混構造の蚕室。	建築物 官公庁舎	2
鎌倉市立御成小学校旧講堂	神奈川県鎌倉市	S8	入母屋造の屋根に塔屋2所を設け、内外に和洋の要素を併せ持つ希少な大規模講堂。	建築物 学校	2
鎌倉市吉屋信子記念館主屋	神奈川県鎌倉市	S37	主屋は平面計画、内法材を減らし床レベルに工夫を凝らす点など、和風要素を巧みに取り入れた建築家吉田五十八による数寄屋住宅の特徴をよく示す。門及び塀ともに保存を図る。	建築物 住宅	2
鎌倉市吉屋信子記念館門及び塀		S37頃		工作物 住宅	1
吉岡家住宅主屋	神奈川県鎌倉市	S5	一階のスタンドグラス、二階の床まわりや天井に様々な意匠を織り交ぜた特徴的な住宅建築。	建築物 住宅	2
宇山商事店舗兼主屋	神奈川県秦野市	S3/S40頃改修	旧矢倉沢往還沿いに建つ。一階下屋は一段、二階は二段の出桁造で奥行深い庇(ひさし)を構成。	建築物 産業3次	1
龍宮殿本館	神奈川県足柄下郡箱根町	S13/S31移築, H28改修	芦ノ湖(あしのこ)東岸に建つ。平等院鳳凰(ほうおう)堂を模した外観で、二階建の中央建物の両翼に三階建の望楼風建物を配する。太い円柱と二手先組物で支えられた階段ホールは秀逸。外国人向けホテルの希少な例。	建築物 産業3次	2
鴨井家住宅主屋	新潟県上越市	E末期/S45・H2改	当地の庄屋(しょうや)を務めた大型農家。主屋は茅葺屋根が地域のランドマークとなっている。土蔵は高い位置までモルタル仕上げとし、豪雪地の特徴を示す。	建築物 住宅	1
鴨井家住宅土蔵		S13		建築物 住宅	2

名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
富山県立魚津高等学校講堂	富山県魚津市	S12/S30・同62・H28改修	比較的早い時期の鉄筋コンクリート造の講堂で、屋根は切妻造で釉薬（ゆうやく）瓦を葺く。柱型や屋根の端部を立ち上げるなど特色ある意匠を持つ。	建築物 学校	2
有隣庵（旧土肥家住宅）主屋	富山県滑川市	慶応3（1867）	旧北陸街道に面する滑川旧市街地最古の町家で、正面両脇にはコワキと呼ばれる袖壁を立ち上げる。	建築物 住宅	1
菅田家住宅主屋	富山県滑川市	M前期/H22改修	旧北陸街道に面する町家。主屋は木造三階建、切妻造棧瓦葺で、平面配置に当地の標準的な構成を取る。衣装蔵は正面の扉口や窓に大きな鳥居枠を付し意匠を凝らす。	建築物 住宅	1
菅田家住宅衣装蔵		安政2（1855）/H27改修		建築物 住宅	2
養照寺本堂	富山県滑川市	T5頃/H22改修	養照寺は加賀藩前田家の本陣となった寺院で、本堂は装飾豊かな内部空間を持つ。	建築物 宗教	1
滑川館本館	富山県滑川市	M20/M後期改修	滑川旧市街地の中心部に建つ。本館は住宅から改造したもので一階は二列八室、二階は吹抜けを囲み四室を配す。正面の瀟洒（しょうしゃ）な格子戸など地域の景観を形作る。道具蔵もよく残る。	建築物 住宅	1
滑川館道具蔵		M20		建築物 住宅	1
櫛原神社本殿	富山県滑川市	M5	滑川旧市街地の東端部に位置する。本殿は石垣の上に建ち、総檜（けやき）造で井波の彫刻師の手による彫刻も質が高い。拝殿は前方を「拝殿」、後方を「葉殿」と称し、背面突出部に「幣殿」と「祭文殿」を配する。祭文殿は床高を上げ木階三級を付し独特の構成を取る。境内西寄りに一の鳥居、拝殿の前方に二の鳥居が建つ。	建築物 宗教	2
櫛原神社拝殿		T4頃		建築物 宗教	2
櫛原神社一の鳥居		安政7（1860）		工作物 宗教	1
櫛原神社二の鳥居		T10		工作物 宗教	1
荒町庵（旧米田楼）	富山県南砺市	M後期/S2・同22・H28改修	城端中心地に建つもと料理屋。正面二階には縁を設けて曳（ひき）山を眺める空間とする。城端のにぎわいがうかがえる建物。	建築物 産業3次	1
愛山荘主屋	福井県越前市	T5	武生駅南西の市街地にある。主屋は一階は庭園に向け、二階は日野山を望み開放的な造りとし、銘木を用いた座敷まわりや瀟洒な透彫りの板欄間など、近代的な趣向が凝らされている。離れは主屋東に廊下を介して接続し、近代的な意匠でまとめる。蔵座敷は主屋南西に渡り廊下で接続し、外壁はモルタル洗出し仕上げに目地を入れ、渦の絵様の鋼製持送りで庇を受け、内部に上質な座敷を持つ近代の蔵座敷の好例。敷地西面に一の蔵、門、二の蔵を配す。石蔵は笏谷（しゃくだに）石を積み扉口や窓は鉄扉とし特徴ある外観を見せる。蔵座敷の東に建つ茶室は端正な中にも変化に富んだ意匠を見せ、待合も併せて保存を図る。	建築物 住宅	2
愛山荘離れ		T5頃/S17増築		建築物 住宅	2
愛山荘蔵座敷		S3		建築物 住宅	1
愛山荘一の蔵		T5頃		建築物 住宅	1
愛山荘二の蔵		T5頃		建築物 住宅	1
愛山荘石蔵		S11		建築物 住宅	2
愛山荘茶室		S3頃/昭和後期改修		建築物 住宅	2
愛山荘待合		S3頃/昭和後期改修		建築物 住宅	1
愛山荘門及び塀		T5頃		工作物 住宅	1
西野家住宅主屋		福井県越前市		E末期/T前期移築、H2改修	西野家は越前和紙生産を牽引（けんいん）した家の一つ。主屋は池田町の農家を移築し背面を増築したもので、妻面に卯建（うだつ）を立ち上げ当地方特有の外観を見せる。離れは主屋の背後に接続し、床構えは銘木を用い彫刻欄間に優れた技術を施しており見応えがある。敷地南東に蚊帳蔵・味噌（みそ）蔵・紙蔵、北西に新蔵・中蔵・大蔵の大型の土蔵が建ち並び、茶室や塀の付属施設もよく残り和紙生産の繁栄を今に伝える。
西野家住宅離れ	S12		建築物 住宅	2	
西野家住宅蚊帳蔵・味噌蔵・紙蔵	E末期/T14頃増築		建築物 住宅	1	
西野家住宅新蔵・中蔵・大蔵	M22頃/S前期増築、H5改修		建築物 住宅	1	
西野家住宅茶室	M42頃		建築物 住宅	1	
西野家住宅塀	S12/S前期増築		工作物 住宅	1	
寿高原食品四階倉庫	長野県千曲市	T4	戸倉駅前に建つ大規模倉庫。庇を持つ窓を一間おきに開く多窓式の外観が特徴。	建築物 産業3次	1
瀧澤家住宅主屋	長野県千曲市	E中期/E後期改修	主屋は江戸中期の建築で土間と床上部間は一間毎に柱を立て、大黒柱が無く、居間の間口が若干広い点など近世における当地域の特徴をよく留める。土蔵は主屋の北に建つ。長屋門は敷地の西面を画し、主屋と共に茅葺の外観が歴史的景観を形作る。	建築物 住宅	2
瀧澤家住宅土蔵		E後期/H5改修		建築物 住宅	1
瀧澤家住宅長屋門		E後期		建築物 住宅	1

名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基準
長瀬茂八郎商店店舗兼主屋	岐阜県高山市	T期／S期・H元改修	T2大火後の再建で、正面二階の壁面を一階より半間後退させ、座敷や茶室に施主の好みが反映されている。	建築物 産業3次	1
なべしま銘茶店舗兼主屋	岐阜県高山市	M中期／S中期・同56改修	店舗兼主屋はM25大火後の再建で、二階開口部に板連子を入れる。二階は一部を吹抜けとし直材による梁組を見せ豪商の繁栄を示す。土蔵は柱をやや内転びに立て当地域の古式を見せている。	建築物 産業3次	1
なべしま銘茶土蔵		E後期		建築物 産業3次	2
和田家住宅主屋	岐阜県羽島郡笠松町	S前期	笠松（かさまつ）町中心地に建つ。主屋は玄関と脇玄関を設け、仏間には吹寄せ棧の格天井をつり、二階の洋間は窓にステンドグラスを用い漆喰天井も丁寧な仕上げ。土蔵は敷地西南角にあり丸石を亀甲積にし一段高い位置に建つ。門及び塀も内外で意匠を違え景観を良好に形成する。	建築物 住宅	2
和田家住宅土蔵		S前期		建築物 住宅	1
和田家住宅門及び塀		S前期		工作物 住宅	1
三養荘（旧岩崎久彌別邸）本館中央棟	静岡県伊豆の国市	S4	岩崎久彌（ひさや）の別邸として建てられ、戦後に旅館とされた。意匠・造作共に質の高い大規模近代和風住宅で、本館中央棟は全体の中心をなし、本館居間・書斎棟は中央棟から雁行（がんこう）状に伸び、松一枚の蹴込床など最も上質な空間を備える。本館客室棟は表向きの接客空間で、数寄屋風意匠でまとめている。玄関・茶室棟は四畳半台目の比較的形式にとられない茶室を持つ。本館待合、露地門の付属施設と共に保存を図る。 御幸の間はS32国体の行幸啓に際して建てられ、座敷と次の間の三方に縁をめぐらし、濡（ぬれ）縁・高欄を設ける点が他の建物と異なり、意匠を凝らした建物。	建築物 住宅	2
三養荘（旧岩崎久彌別邸）本館居間・書斎棟		S4		建築物 住宅	2
三養荘（旧岩崎久彌別邸）本館客間棟		S4		建築物 住宅	2
三養荘（旧岩崎久彌別邸）本館玄関・茶室棟		S4		建築物 住宅	2
三養荘本館御幸の間		S32		建築物 産業3次	2
三養荘（旧岩崎久彌別邸）本館待合		S初期		建築物 住宅	2
三養荘（旧岩崎久彌別邸）本館露地門		S初期		工作物 住宅	2
愛知県立旭丘高等学校正門門柱（旧愛知県立第一中学校正門）		愛知県名古屋市		S13／S34・H13改修	愛知県第一中学校の現在地への移転に際して建設された正門門柱。鉄筋コンクリート造で、柱はほぼ正方形平面で四隅を切り欠き横目地を切る。重厚な意匠で学校の歴史を今に伝える。
中村公園記念館	愛知県名古屋市	M43／T期・S25頃・同33・同45・同50・H28改修	記念館はもと迎賓館として建てられたもので、L字型平面で正面中央に唐破風造の車寄せを張り出す。良材を用いた和室は座敷飾りを備え天井を高くし風格を今に伝える。豊頌（ほうしょう）軒は碌々齋（ろくろくさい）好みの茶室を移築したもので簡明で洗練された意匠の茶室。	建築物 文化福祉	2
中村公園豊頌軒		M前期／S32移築		建築物 住宅	2
愛知県立瑞陵高等学校旧正門門柱（旧愛知県商業学校正門）	愛知県名古屋市	T13頃	鉄筋コンクリート造の門柱で、主柱と脇柱各2本からなる。外観はセセッション風に直線で構成され、柱頭部には幾何学模様の装飾を付す。愛知県営繕課による標準設計の一例で通用門として親しまれる。	工作物 学校	1
愛知県立惟信高等学校正門門柱（旧愛知県惟信中学校正門）	愛知県名古屋市	S4頃	鉄筋コンクリート造の門柱で、主柱と脇柱各2本からなる。外観をセセッション風に直線で構成され、柱頭部は三角錐など幾何学模様で装飾する。愛知県営繕課による標準的設計の門。	工作物 学校	1
愛知県立岡崎高等学校正門門柱（旧愛知県立第二中学校正門）	愛知県岡崎市	T前期／T13・S47移設	花崗岩製の門柱。西洋建築のオーダーを基調とした意匠で、柱身は江戸切こぶ出し仕上げで、柱頭部は線型を施し大きく張り出す。県内中学校正門の古例で西洋趣味の強い意匠を持つ。	工作物 学校	2
愛知県立岩津高等学校正門旧門柱（旧岩津町立愛知県岩津農商学校正門）	愛知県岡崎市	S12／S60移設	花崗岩製の門柱。柱身は江戸切こぶ出し仕上げで、笠石を載せ、柱頂部を半球で飾る特徴的な意匠を持つ。	工作物 学校	2
愛知県立半田商業高等学校正門門柱（旧愛知県知多郡立高等女学校正門）	愛知県半田市	T10／H7改修、H20移設	小口煉瓦タイルに花崗岩を帯状に組み合わせる意匠が特徴で、「赤門」として親しまれている。柱頭部に花崗岩の飾り石を配し、柱頂部に球形照明を置く。	工作物 学校	2
愛知県立津島高等学校正門門柱（旧愛知県津島中学校正門）	愛知県津島市	T12頃	鉄筋コンクリート造の門柱で、主柱・脇柱とも同じ意匠でまとめるが目地間隔を変えている。柱頭部に幾何学模様を配し、学校の歴史を今に伝えている。	工作物 学校	1

名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基 準
愛知県立碧南高等学校正門門柱（旧愛知県碧南国民学校正門）	愛知県碧南市	S4頃／S37頃改修	花崗岩製の門柱。主柱は太い江戸切こぶ出し仕上げの角柱を立てた簡素なものであるが、かつては笠石と球形照明器具があった。創立期の歴史を伝える門柱。	工作物 学校	1
愛知県立刈谷高等学校正門門柱（旧愛知県刈谷中学校正門）	愛知県刈谷市	T12	鉄筋コンクリート造の門柱で、主柱と脇柱各2本からなる。外観はセセッション風に直線で構成され、柱頭部には幾何学模様の装飾を付す。愛知県営繕課の当時の標準設計の門で残りも良い。	工作物 学校	1
愛知県立安城農林高等学校正門門柱（旧愛知県立農林学校正門）	愛知県安城市	M36頃／S5頃改修、S35移設	石造の主柱と鉄筋コンクリート造の左脇柱からなる。柱頭部は丁寧に線型を施しており、柱頂部にはかつて擬宝珠状の装飾があった。県内における最古の学校門柱として貴重。	工作物 学校	2
愛知県立鶴城丘高等学校正門門柱（旧愛知県蚕糸学校正門）	愛知県西尾市	T14頃	愛知県蚕糸学校の正門として建てられた。鉄筋コンクリート造の門柱で、主柱と脇柱各2本からなる。県立高校の標準設計に基づく意匠とし、地域の景観に寄与する。	工作物 学校	1
愛知県立西尾高等学校通用門門柱（旧愛知県西尾中学校正門）	愛知県西尾市	S5頃	鉄筋コンクリート造の門柱で、主柱と脇柱各2本からなる。県立高校の標準的な手法をとりながら、柱をやや太くし、柱頭部の装飾はアカンサスの葉を模し、古典的要素を強く示す。	工作物 学校	1
滝学園図書館	愛知県江南市	S8／S40増築	S8建築の旧図書館である一階中央部分を覆う形でS40に増築したもの。現在の外観は縦ルーバーが並ぶ立面など戦後モダニズムの特色を示す。	建築物 学校	2
愛知県立小牧高等学校正門門柱（旧愛知県小牧中学校正門）	愛知県小牧市	S4	鉄筋コンクリート造の門柱で、主柱と脇柱各2本からなる。県立高校の標準設計に基づきながら、柱は太く、柱頭部にアカンサスの葉を模した装飾を備えるのが特徴で、学校の歴史を今に伝える。	工作物 学校	1
旧中七木綿本店主屋（旧事務所）	愛知県知多市	T3／S20移築	知多半島西岸北部に位置する。中七木綿はM29に綿布製造会社として設立した。主屋（旧事務所）は二階にはかつて接客に用いられた2室を残し、やや起りのある屋根や黒漆喰塗の外壁など重厚な外観を持つ。主屋の背後には平屋建の作業所と二階建の寄宿舍が建つ。敷地西に南蔵、北蔵を並べる。長屋門は敷地の南・東を画す矩折平面で、納屋のほか旧食事室や浴室、賄い部屋など社員の生活に必要な居室を備える。塀は長屋門から敷地東辺を画し、地域の歴史的景観を形成する。	建築物 産業2次	2
旧中七木綿本店南蔵		T3頃		建築物 産業2次	1
旧中七木綿本店長屋門		T3頃		建築物 産業2次	1
旧中七木綿本店塀		T3頃		工作物 産業2次	1
旧中七木綿本店作業所・寄宿舍		T3頃		建築物 産業2次	1
旧中七木綿本店北蔵		T3頃		建築物 産業2次	1
吉村家住宅主屋	京都府京都市	S4	北東に客間、南に広間や食堂を配置し、家族のための部屋を重視する近代的な住宅思潮を示す。	建築物 住宅	2
去木庵（長谷川家住宅離れ）	京都府京都市	T2	和風意匠を基調とし、細部には様々な幾何学的意匠を取り入れ、設計者の独創性がうかがえる離れ。	建築物 住宅	2
千歳家住宅主屋	京都府京都市	M2	千歳家はもと材木商。主屋は正面に出格子を設け、つし二階は漆喰塗で格子窓を穿（うが）つ。内部は二間幅の土間を通し、床上部はチョウバ等と座敷列を廊下で画す。座敷飾や建具も上質で伏見の商家の構えを伝える大型町家。離れは独特な鉦（なた）目の床柱、違棚の青海波彫刻など大工の独創が看取される数寄屋建築。主屋後方には旧蔵と新蔵が建つ。	建築物 住宅	2
千歳家住宅離れ		S8		建築物 住宅	2
千歳家住宅旧蔵		M初期		建築物 住宅	1
千歳家住宅新蔵		S2		建築物 住宅	1
小西朝陽館御殿	大阪府大阪市	M45	皇族等の宿泊のために建てられた別荘。御殿は15畳の広間を持ち折上格天井に床・付書院・床脇を有する座敷飾など豪壮な造り。玄関は主屋の東面南端に接続し、床面は磚（せん）の四半敷で主屋境で屋根を大きく反り上げ、禅宗寺院建築の趣を有する。新御殿はT11火災後、陸軍特別大演習に際して閑院宮若宮春仁王の宿泊のために再建されたもので、椅子座を基本とするため内法が高く、天井は折上格天井でシャンデリアを飾る。御殿と新御殿の間に月見台が建つ。唐門及び脇塀は竹田宮、東久邇宮（ひがしくにのみや）の来訪のため建築され、精緻な技巧を凝らす。門及び御所塀も質が高い。	建築物 住宅	2
小西朝陽館玄関		M45頃		建築物 住宅	2
小西朝陽館新御殿		S7		建築物 住宅	2
小西朝陽館月見台		S7		建築物 住宅	2
小西朝陽館唐門及び脇塀		T3		工作物 住宅	2
小西朝陽館門及び御所塀		T3		工作物 住宅	1

名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準		
日本民家集落博物館河内布施の長屋門	大阪府豊中市	E末期／S34移築	河内布施の長屋門は桁行15メートル、本瓦葺で外壁は大壁で腰板張とし旧家の格式を伝える。堂島の米蔵は切妻造、本瓦葺、妻入の土蔵で、小屋組は曲がり材の梁を折置に組む和小屋とし、正面扉口は観音扉、土戸及び格子戸を建て込み、かつての堂島蔵屋敷をしのぶ貴重な遺構。北河内の茶室は簡明な意匠で上層農家の茶室の好例。	建築物 住宅	2		
日本民家集落博物館堂島の米蔵		E末期／S25改修、S35移築		建築物 住宅	2		
日本民家集落博物館北河内の茶室		嘉永4（1851）／S20代・H17移築		建築物 住宅	2		
要家住宅表書院	大阪府貝塚市	E中期／H16改修	要家は岸和田藩七人庄屋を務めた家。表書院は御成のための書院で、格式ある構えながら藩主が儉約を旨としたことに従い長押を用いず簡素な意匠とする。離れ書院は内向きの書院で、花頭形の窓、釘隠（くぎかくし）や引手金具を七宝とし花狭間欄間など細部意匠を凝らし華やかに飾る。離れ書院の東にある内蔵は敷地内で最も古い蔵である。敷地東方には唐戸蔵（かねのとぐら）、道蔵（みちぐら）、道具蔵がコの字に配置される。敷地南面の表長屋門は表書院への表門と主屋への台所門を開き、旧家の格式を今に伝える。内長屋門は表長屋門に直行して建ち、表書院前空間と主屋の玄関前空間を明瞭に区画するもので類例がほとんどなく貴重である。中門（なかもん）、庭門及び塀により屋敷地内を区画する。土塀は広大な屋敷地を囲む塀で優美な曲面を描き、庄屋の豪壮な屋敷構えを構成し景観に寄与している。	建築物 住宅	2		
要家住宅離れ書院		元文3（1738）		建築物 住宅	2		
要家住宅内蔵		E中期		建築物 住宅	1		
要家住宅唐戸蔵		E末期		建築物 住宅	1		
要家住宅道蔵		E後期／H8改修		建築物 住宅	1		
要家住宅道具蔵		E末期／H5改修		建築物 住宅	1		
要家住宅表長屋門		E後期		建築物 住宅	2		
要家住宅内長屋門		E末期		建築物 住宅	2		
要家住宅中門		E後期		建築物 住宅	1		
要家住宅庭門及び塀		E末期		工作物 住宅	1		
要家住宅土塀		E末期		工作物 住宅	1		
金剛寺本坊持仏堂		大阪府河内長野市		E中期	重要文化財が多数所在する金剛寺境内にあって、江戸期から伝わる金剛寺旧子院の建物や、明治期に子院を統合した際に格式を整えるために整備された建物、楠木（くすのき）正成顕彰に関連する大規模講堂などが天野川兩岸に建ち並ぶ。持仏堂、客殿、築地塀、旧理趣院表門、旧真福院表門は近世の境内景観を今に伝える。大玄闕、奥殿、渡廊下、茶室、表門は明治に入って以降に整備されたもので、旧子院群が本坊に統合されたのちに格式を整えた。無量寿院・籠堂も明治以降の建物と考えられるが、一部は旧子院の建物を継承している可能性がある。また大講堂、大講堂食堂、鎮守橋は昭和期に入ってから建てられたもので、近代寺院施設の好例。	建築物 宗教	2
金剛寺本坊客殿				E中期／H3改修		建築物 宗教	1
金剛寺本坊大玄闕	M44		建築物 宗教	1			
金剛寺本坊奥殿	T2		建築物 宗教	1			
金剛寺本坊渡廊下	T期		建築物 宗教	1			
金剛寺本坊茶室	M44		建築物 宗教	2			
金剛寺本坊表門	M後期		工作物 宗教	1			
金剛寺無量寿院・籠堂	M中期		建築物 宗教	1			
金剛寺天野川東岸旧子院築地塀	E中期		工作物 宗教	1			
金剛寺旧理趣院表門	E中期		工作物 宗教	1			
金剛寺旧真福院表門	E中期		工作物 宗教	1			
金剛寺大講堂	S17		建築物 宗教	2			
金剛寺大講堂食堂	S17		建築物 宗教	2			
金剛寺鎮守橋	S16		土木 宗教	2			
長田家住宅（旧石阪家住宅）主屋	兵庫県神戸市		S15頃	チョウナ仕上げの付柱や梁を現しとして民芸調意匠の内部空間をもつ住宅。		建築物 住宅	2
旧芦屋郵便局電話事務室	兵庫県芦屋市		S4／H16改修	鉄筋コンクリート造で側廊に半円アーチを連続し、獅子（しし）頭やレリーフ装飾を付し特徴的な意匠を有する。		建築物 官公庁舎	2
旧高砂銀行本店（高砂商工会議所会館）	兵庫県高砂市	S7／S5改修	正面にオーダーの柱を立て頂部を文様で飾り古典主義様式に倣い当時の銀行社屋の特徴を示す。	建築物 産業3次	2		
旧高砂通運本社屋	兵庫県高砂市	S14／H27改修	壁頂部の水平ライン、各面の矩（く）形開口部などモダニズム建築に通ずる外観意匠の事務所。	建築物 産業3次	1		
旧高砂消防会館・南本町巡查派出所	兵庫県高砂市	S10／H27改修	派出所は台形屋根で簡略化した破風を見せるなど装飾的で地域の防災・防犯拠点を象徴する建物。	建築物 官公庁舎	1		

名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準
阿江家住宅主屋南・東棟	兵庫県加東市	S23頃	阿江（あえ）家は明治初期に織物業を創業した。主屋南・東棟は地松等良材を用い、天井を高く取り変化に富んだ格天井とするなど内外部に意匠を凝らし特色ある近代和風建築。主屋北西棟は平屋であるが軒高が高く小庇を四周に廻らし、外壁のほとんどを板張とし小壁と軒付のみ色土壁とする独特の外観を持つ。内蔵もあわせて保存を図る。	建築物 住宅	2
阿江家住宅主屋北西棟		S23頃		建築物 住宅	2
阿江家住宅内蔵		S23頃		建築物 住宅	2
阿江ハンカチーフ旧工場		M44/S62頃改修		建築物 産業2次	1
阿江ハンカチーフ検反場一		M44		建築物 産業2次	1
阿江ハンカチーフ検反場二		S30頃		建築物 産業2次	1
阿江ハンカチーフ旧寄宿舍		S30頃		建築物 産業2次	1
阿江ハンカチーフ旧食堂		S30頃		建築物 産業2次	1
阿江ハンカチーフ旧製品倉庫		S23頃		建築物 産業2次	1
正住寺離れ座敷	和歌山県和歌山市	T9/H25移築	橋本市中心部より移築したもので、座敷まわりを端正にまとめる離れ建築。	建築物 宗教	2
稱念寺本堂	和歌山県和歌山市	寛政7（1795）／ M40移築	加太の街中にある西山浄土宗寺院。本堂は七間堂で和歌山城下にあった真光寺より移築したもので、南東に式台玄関が付き、内部柱は漆塗金欄（きんらん）巻で彫刻欄間をはめた荘厳な造り。山門は四脚門で、小規模ながら総檜造で質が高い門。	建築物 宗教	2
稱念寺山門		E末期		工作物 宗教	2
宮崎家住宅主屋	和歌山県和歌山市	T7	淡路街道に面して敷地を構える。主屋は一階を腰板張と上部を黒漆喰塗とし、二階開口部には銅板折戸を付ける外観を持つ。主屋背面に土蔵が建つ。長屋門は主屋背面側に直交して建ち、港町のかつての景観を今に伝える。	建築物 住宅	1
宮崎家住宅土蔵		T7		建築物 住宅	1
宮崎家住宅長屋門		T後期		建築物 住宅	1
鳥取民藝美術館別館湖山池阿弥陀堂	鳥取県鳥取市	S39/S41増築, S50 代改修	鳥取で新作民藝（げい）運動を推進した吉田璋也（しょうや）の設計で、池を望む展望室に水屋を介して茶室を配す。クリを多用し、ケヤキ、ラワン、サクラを組み合わせるなど特徴的な建築。	建築物 文化福祉	2
太田家住宅主屋	鳥取県八頭郡八頭町	M30	主屋は座敷まわりを中心に良材を多用し、各部を透漆仕上げとするなど上質な造りで大規模な近代和風住宅の好例。主屋背面に接続する新建（しんだて）は曹洞宗管長の宿泊のために建てられ、天井が高く、付書院が付く床廻りなど質の高い離れ。門長屋は敷地南端を画す。	建築物 住宅	2
太田家住宅新建		S8		建築物 住宅	2
太田家住宅門長屋		M30頃/T4改修		建築物 住宅	2
村松家住宅主屋	島根県松江市	M25/S前期頃改修	城下町の旧足軽屋敷地に建つ。主屋は屋根に左棧瓦、棟に来待石（きまちいし）を用い地域性を示し、中廊下型の近代的様相も見せる。門及び塀は伝統的な門構えと西洋風の近代意匠を併せ持つ。	建築物 住宅	1
村松家住宅門及び塀		S前期		工作物 住宅	1
酒持田本店店舗兼主屋	島根県出雲市	M10頃/T初期・S3 増築	宍道湖（しんじこ）西の平田町中心部に建つ。M10の創業で、店舗兼主屋は正面は平格子を構え伝統的な意匠とするが、座敷まわりや洋間など近代的な要素も見られる大型町家。主屋の奥には酒造施設の中核をなす貯蔵施設である旧蔵が建つ。検査場は洋風意匠を持つことの多い検査場の好例。	建築物 産業2次	2
酒持田本店旧蔵		M10頃/T期・S期増 築		建築物 産業2次	1
酒持田本店検査場		T初期		建築物 産業2次	1
島田家住宅主屋	島根県益田市	M21/S41・同50頃 改修	益田市中心部の小高い丘の南麓に建つ。主屋は床上部を三列八間取とし、赤瓦の大屋根が印象的な景観を形成している。酒蔵は敷地西寄りに建ち、白漆喰塗の外壁が特徴ある街路景観を形成する。	建築物 住宅	1
島田家住宅酒蔵		E後期/M期増築		建築物 住宅	1

名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準
賀茂鶴酒造本社事務所	広島県東広島市	S前期	西条の酒蔵群の北寄りに位置する。敷地南端に建つ洋風意匠の本社事務所，研究室棟の背後に二号蔵，三号蔵，四号蔵，八号蔵が建ち並び，それぞれの井戸，煙突なども建つ。蔵は漆喰壁の下部を海鼠壁とし，酒造の街の特色ある景観を形作る。また，いずれも規模の大きな建物で，特にL字型平面を持つ三号蔵の二階部分は，内部に間仕切りを設けず長大な一室とするなど，見所も多い。煉瓦造の煙突はそれぞれ上部に「賀茂鶴」「賀茂鶴第三醸造場」「賀茂鶴第四醸造場」などの文字を掲げ，地域のランドマークとして広く親しまれている。蓬莱庵（ほうらいあん）画室棟は東京都文京区の日本画家児玉希望自邸内の画室及び茶室を移築したもの。	建築物 産業2次	1
賀茂鶴酒造研究室棟		S前期		建築物 産業2次	1
賀茂鶴酒造二号蔵東西棟		M後期		建築物 産業2次	1
賀茂鶴酒造二号蔵南北棟		M後期		建築物 産業2次	1
賀茂鶴酒造二号蔵東井戸		M後期		工作物 産業2次	1
賀茂鶴酒造二号蔵西井戸		M後期		工作物 産業2次	2
賀茂鶴酒造二号蔵煙突		M後期		工作物 産業2次	1
賀茂鶴酒造三号蔵		T前期		建築物 産業2次	3
賀茂鶴酒造三号蔵煙突		T前期		工作物 産業2次	1
賀茂鶴酒造四号蔵		T後期		建築物 産業2次	1
賀茂鶴酒造四号蔵井戸		T後期		工作物 産業2次	1
賀茂鶴酒造四号蔵煙突		T後期		工作物 産業2次	1
賀茂鶴酒造八号蔵煙突		S前期		工作物 産業2次	1
賀茂鶴酒造蓬莱庵画室棟		S前期/H17移築		建築物 住宅	2
賀茂鶴酒造一号蔵西棟		広島県東広島市		M前期/T期・S前期 増築，H28改修	賀茂鶴本社事務所などが建ち並ぶ区域の南西方，旧西国街道沿いに位置する，賀茂鶴酒造発祥の地。現在では来訪者のための施設等として活用されている。L字型平面の西棟を始めとして，土蔵が建ち並び，酒造の象徴である井戸も残されている。
賀茂鶴酒造一号蔵東棟	M前期		建築物 産業2次	1	
賀茂鶴酒造一号蔵北土蔵	M前期		建築物 産業2次	1	
賀茂鶴酒造一号蔵南土蔵	M前期		建築物 産業2次	1	
賀茂鶴酒造一号蔵井戸	M前期		工作物 産業2次	1	
旧石井家住宅主屋	広島県東広島市	T期	酒造業者の住宅主屋と土蔵。いずれも大正期に建てられたもので，主屋は正面右手に土間を通し，左手に居室を設ける。	建築物 住宅	1
旧石井家住宅土蔵		T期		建築物 住宅	2
白牡丹酒造延宝蔵南端棟	広島県東広島市	E中期/E後期・S中期 改修	旧西国街道に面し，西条の酒蔵群の南西寄りに位置する。敷地の西側に長い立面を見せる南端棟，その北に伸びるL字型平面の北端棟と，石造の重厚な井戸屋形を備える井戸，煉瓦造の煙突が並ぶ。	建築物 産業2次	1
白牡丹酒造延宝蔵北端棟		M前期/S34増築		建築物 産業2次	1
白牡丹酒造延宝蔵井戸		E中期/S中期改修		工作物 産業2次	1
白牡丹酒造延宝蔵煙突		M前期		工作物 産業2次	1
白牡丹酒造天保蔵仕込蔵	広島県東広島市	S前期	延宝蔵の区域から旧西国街道を挟んで南東方に位置する。昭和前期に建てられた大規模な蔵である仕込蔵，敷地南方に位置する精米所，及び井戸と煉瓦造の煙突が並ぶ。煙突は地域の煉瓦造煙突の中でもひとときわ高く「白牡丹（はくぼたん）」の字を掲げてランドマークとなっている。	建築物 産業2次	1
白牡丹酒造天保蔵精米所		M後期/S36増改		建築物 産業2次	2
白牡丹酒造天保蔵井戸		E末期		工作物 産業2次	2
白牡丹酒造天保蔵煙突		M前期		工作物 産業2次	1

名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基 準
谷家住宅主屋	徳島県海部郡美波町	M3頃	日和佐港沿い街区に建つ。谷家は幕末から明治末まで海運業を営んだ。主屋は入母屋造で玄関は妻飾をもつ切妻屋根を載せ、海運業で栄えた往時をしのばせる。産屋（さんや）は主屋に縁を介して接続する生活の一端を伝える貴重な遺構。ミセは背方面に出格子を設け土間部は舟底天井とし趣向を凝らしており、漁師町にふさわしい景観を創出している。表門及び塀も併せて保存を図る。	建築物 住宅	1
谷家住宅産屋		M3頃		建築物 住宅	1
谷家住宅ミセ		M3頃		建築物 住宅	1
谷家住宅表門及び塀		M3頃		工作物 住宅	1
佐田岬灯台	愛媛県西宇和郡伊方町	T7/S16増築	佐田岬半島の先端で四国の最西端に建つ。灯塔は八角形平面、灯室は円形平面とし、方形の付属舎が付き、細部に幾何学意匠を用いる。我が国鉄筋コンクリート造灯台の初期の形式をよく残す。	工作物 交通	1
大隈重信記念館	佐賀県佐賀市	S41/S59・H27改修	大隈（おおくま）重信生誕125周年を記念し今井兼次が設計。優れた施工技術による記念碑的建築。	建築物 文化福祉	3
大谷川隧道	佐賀県唐津市	M44	地元住民により開削された水路隧（ずい）道。坑口は煉瓦造イギリス積で付柱や笠石により鳥居形を表す。	土木 治山治水	2

注

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物はその他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの，2は造形の規範となっているもの，3は再現することが容易でないもの。